

甲南平生拾芳奨励金

(フロンティアサイエンス学部 2020年3月卒業)

## 甲南 100 周年記念栄誉特待生に採用されてから

この度は甲南 100 周年記念栄誉特待生として採用して頂きました事、心より感謝申し上げます。私は、現在フロンティアサイエンス学部・腫瘍分子生物研究室に所属しており、がんの創薬基盤研究からがんの根治を目指した治療薬・方法を確立し、医療の発展に貢献するため研究者となることを志望します。私のがん研究者を志すきっかけとなったのは、がんを患い抗がん剤の副作用に苦しみながらも希望をもって治療を受けていた友人をなくしたことです。生命化学を学ぶだけでは何も出来ない無力さを痛感し、現所属先で研究を始めました。研究を行っていくうえで、世界と競うには研究に時間を多く費やすことが必要であると感じました。私が行っている分野の研究は、世界でまだ誰も知らない領域を明らかにすることであり、1つの実験を成功させるだけでも多大な時間を要します。しかし、生活費や研究成果を披露する国内会議への参加など、経済的な負担があり、多くの時間をアルバイトに割いてきました。この度、甲南 100 周年栄誉特待生として採用していただいたことで、さらに研究に集中することが可能となりました。その結果、研究成果が査読付き国際雑誌に 2 報掲載されました。さらに、国内会議にて 4 編筆頭演者として発表し、第 3 回ナノバイオ交流会にて奨励賞、リサーチフェスタ 2019 にてビッグデータ賞を受賞することができました。また、令和元年度卒業研究発表会においては学生推薦最優秀賞を受賞することができました。

今後は、大学院生として現所属先の研究室で研究を継続します。現在行っている研究をより深く、より広く理解し、がんの根治を目指したいと考えています。また、来年度に科学力がアジア最高峰のシンガポールに留学することを決めています。私の研究はシンガポール国立大学との共同研究でもあり、スカイプを利用し、定期的にディスカッションを重ねています。来年度には、共同研究先であるシンガポール国立大学での実験や国際学会での発表を予定しており、海外での積極的な活動を希望しています。これらの活動資金としても甲南平生拾芳奨励金を利用したいと考えています。

私は分子生物学を基盤とし、さまざまな共同研究を通して多角的な視野で深く考え研究にアプローチすることのできる研究者であり、世界に通用する研究者となることを目標としています。甲南 100 周年記念栄誉特待生として採用して頂いたことを誇りとし、今後も後進の手本となれるよう精進してきます。